

男女共同参画を考える

意識調査結果の概要

パート1

教育委員会 47-3810

南越前町では、平成22年度に、18歳以上の男女600人を対象に、男女の固定的な役割分担意識やそれに基づいた制度・慣行について実態を把握し、南越前町の男女共同参画を推進するため、「男女共同参画社会についての意識調査」を行いました。これから数回にわたり、その結果などをお知らせします。

【回収の結果】

回収者数：282名（男性119名・女性156名）
回収率：47.0%

男女共同参画社会の現状

◆社会の各分野での男女の地位

○男女の地位について、『男性優位』と考えている人は、「地域」の中での慣行や風習、「政治」、「職場」で70%を超える数値となっており、特に「地域」の中での慣行や風習が78.4%と最も高い数値を示しました。

○前回調査（平成18年度）と比較すると、『男性優位』と考えている人の割合は、『学校教育』を除き増加しました。

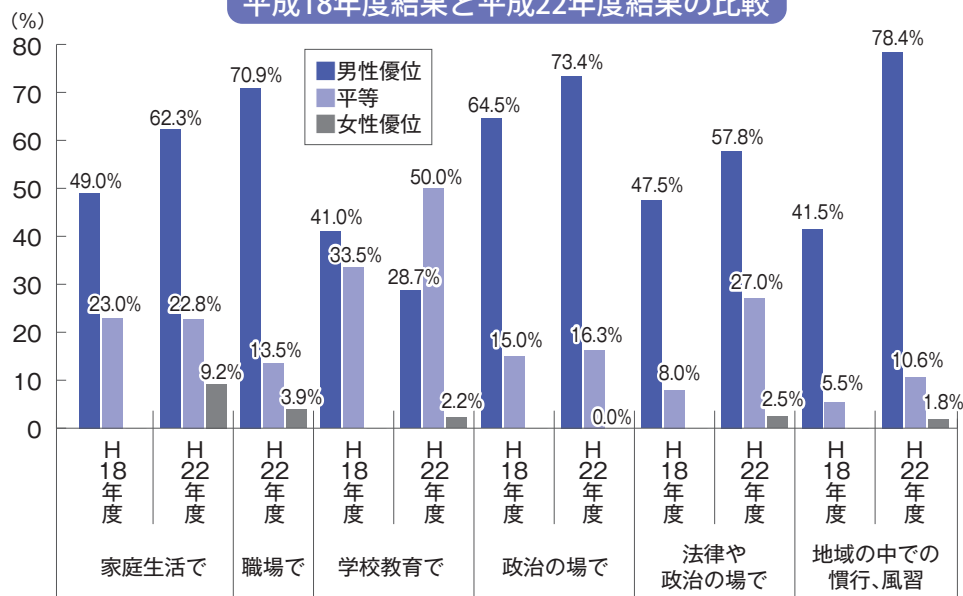
『男性優位』と考えている人の割合

- 家庭生活で 49.0% ↓ 62.3% (13.3%増加)
- 学校教育で 41.0% ↓ 28.7% (12.3%減少)
- 政治の場で 64.5% ↓ 73.4% (8.9%増加)
- 法律や政治の場で 47.5% ↓ 57.8% (10.3%増加)
- 地域の中での慣行や風習で 41.5% ↓ 78.4% (36.9%増加)

なんと!!

「学校教育」の場では、『平等』と答えた人が50%になりました!!

平成18年度結果と平成22年度結果の比較



男女共同参画とは…

男性と女性と同じことをしよう!!
ということではありません。

個性を尊重しながら
力をあわせて暮らせる
社会を目指すことです。

性別に関係なく個人個人の能力をいかして、
家庭、職場、地域をよりあげていきましょう!!

詳しくは…

南越前町ホームページ

<http://www.town.minamiechizen.fukui.jp/>

●「職場」や「政治」や「法律」の場では、制度的に規制を行うことができますが、「地域」の中での慣行や風習については、法律や制度面での規制が難しく、なかなか男女共同参画が進んでいくことが考えられます。

●「学校教育」では、男女共同参画の理念等を学習するだけでなく、実際、女子生徒が生徒会長になるなど、目に見える形で男女平等を感じることができるようになったことが良かったのではないかと考えます。

残念ながら
学校教育以外の分野では、
『男性優位』と考えている人が
大多数いることがわかりました。

